

令和元年度成果報告 産業観光課総括

1. 商工観光関係

- ・平成 28 年度から計画検討を続けてきた集合型ショッピングセンターの構想は、実現が難しいという判断により断念し、計画の検討は終了したが、買い物弱者対策、駅前商店街の活性化については引き続き検討を行っていくこととした。
- ・消費税引き上げに合わせて、プレミアム付き商品券の販売を、国庫補助事業により実施した。
- ・南木曾町観光協会が一般社団法人化され、妻籠宿にあった旧 J A 木曾妻籠購買店を町が購入改修し、(一社) 南木曾町観光協会事務所として開設した。
- ・尾張藩連携事業推進協議会が設立され、尾張藩エリアの歴史、文化、自然等のコンテンツを共有、連携して国内外に情報を発信し、観光推進を図っていくこととなった。

2. 農政・農村整備・林務関係

- ・中山間地域等直接支払制度の 4 期（平成 27～31 年）と多面的機能支払交付金事業の 2 期（令和元年～5 年）による各協定での取り組みが進められ農道・水路の維持管理が行われた。中山間地域等直接支払制度は第 5 期対策の準備を行った。多面的機能支払交付金事業は 2 期対策の初年度ということで、新たな計画認定業務が行われた。
- ・畜産振興については、素牛導入事業や町有牛導入事業により飼育頭数が増え、家畜市場の子牛の価格も好調であった。
- ・与川大橋の耐震改修が県営事業に採択され、平成 29 年度に実施設計が行われ、平成 30 年度から耐震改修工事に着手し、令和元年度に事業が完了した。
- ・細野洞地区における小水力発電事業は、平成 30 年度に工事着手し、令和元年度は導水管敷設に係る工事を約 300m 実施した。
- ・重点ため池に位置付けられた 3 か所の農業用ため池について、ため池ハザードマップを作成した。
- ・有害鳥獣対策として、猟友会にサル用捕獲檻、くくりワナ等を配布し有害駆除を実施した。また、緩衝帯整備 3 か所、柵の設置 1 か所を実施し、有害鳥獣の出没防止を図った。

3. 特別会計

妻籠宿有料駐車場特別会計

- ・ 駐車場使用料は対前年度比 0.4%、約 10 万円の増となった。車種別台数ではバスが 342 台増加し、マイクロバス 70 台、普通車 436 台、二輪車 64 台の減少となった。主な原因は、濃飛バス、名鉄バス、東濃鉄道の路線バスの運行による利用があげられる。
- ・ 第 2 駐車場管理棟の改修を行った。

【評価】

- ・ 観光協会は、一般社団法人化されたが、事務所も整備中であったため、まずは組織の強化ということで新規の会員の募集を開始し、事務所開設後に動き出せるよう体制準備を行っている。観光関係者が役員主体となり、町がこれを支援していく体制が理想的であり、今後も支援を行っていく必要がある。
- ・ 観光施設の施設整備・維持管理は、地域の協力を得ながら、町の一定の支援は継続的に必要である。
- ・ 南木曾駅は、住民の交通手段として重要である。また、町を訪れる観光客・外国人の利用度も高いため、引き続き窓口業務の運営は必要である。
- ・ 妻籠宿有料駐車場は、保存事業等の財源として有用である。依然として利用客が少ないため経営の改善が必要である。
- ・ 中山間直接支払や多面的機能支払事業は、自主的な維持修繕で農地を保全できるほか、農家の所得補償にもなっているため今後も継続が必要である。また、水田農業を継続していくには共同利用機械・施設が必要であり、今後も水田農業共同利用施設整備事業補助を使った定期的な設備の更新が必要である。
- ・ 森林造成事業等町上乘補助金は、森林組合の民有林搬出間伐の事業に対する支援であり、健全な森林を維持するために今後も必要な事業である。
- ・ 有害鳥獣駆除事業及び鳥獣被害対策実施隊の設置は、今後も農作物及び林業被害防止のため継続が必要で、状況を把握した上での駆除、駆除報償や資格保持者の経費負担の軽減を図っていく必要がある。
- ・ 松くい虫防除対策事業は、蔓延防止及び倒木の危険防止のため、継続していく必要があるが、町単独費による処理費用が増加傾向にある。今後、更に駆除対象となる被害木の選定について最小限の処理で最大限の効果が達成できる方法について検討していく必要がある。

7 産業観光課所管

1. 商工

(1) 商工振興

○雇用対策について

- ・木曽地区雇用対策推進協議会（7月18日、2月12日）
木曽地区の雇用情勢等の報告、各町村で意見交換。
- ・木曽地域 就業促進・働き方改革戦略会議（2月12日）
H30 から木曽地域振興局が事務局として設立。町村長・各種団体の長が集まり、木曽地域における産業人材の確保や学生の地域産業への就業促進等について、現状と課題を共有し地域一体となって取り組むことを目的としている。
- ・中津川・南木曽・大桑雇用対策関係市町村連絡会議（7月4日）
中津川市雇用対策事業との連携（負担金：33千円）
高等学校求人一覧冊子の作成、配布（蘇南高等学校：5冊、木曽青峰高校：2冊）
- ・公共職業安定所の発行する求人情報を窓口を設置（役場、南木曽会館）

○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金・特別経営安定対策）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施した。

融資額は、平成30年度対比で減額（△27,740千円）となった。融資内容としては、設備資金が約70%（16,520千円）を占めた。

- ・町中小企業振興資金（年利2.0%）

預託金	総額	21,500千円		
		八十二銀行	11,000千円	岐阜信用金庫 6,500千円
		木曽農協	4,000千円	

- ・融資の状況

町制度資金	7件	10,520千円
県制度資金	2件	13,000千円
計	9件	23,520千円

- ・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金	6件	220千円
県制度資金	2件	289千円
計	7件	509千円

- ・災害影響による借入に対する利子補給

7件	463千円
----	-------

※運転資金6件、設備投資1件

○小規模事業者への指導

- ・小規模事業指導費として南木曽商工会に4,500千円を交付。経営指導、融資斡旋等を実施。

・南木曾スタンプ組合と南木曾町商品券加盟店会が統合され、H25に「なぎそ・おたのしみカード会」が発足。地域内消費拡大事業補助金として100千円を交付。

○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ（WCN）の事業に110千円を交付。
- ・第34回南木曾町小学生木工造形コンクールの実施（展示は町民展と同時開催）
応募作品137点

○木材産業体験事業

・町内木工事業者の協力により、南木曾小学校3年生が間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行った。テーブル5台、ベンチ10台を町内観光地等へ配置した。

事業費 229千円（県：144千円、町：85千円）

設置場所：東山公園、かぶと観音、天白公園、一石柵、蘭キャンプ場

○伝統工芸品の振興

町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため、次の団体に助成を行うとともに、各種イベント・物産展への参加とPR及び販路拡大を図った。

- | | | |
|------------------------|--------------|-------|
| ・「南木曾ろくろ細工」（国指定伝統的工芸品） | 南木曾ろくろ工芸協同組合 | 350千円 |
| ・「蘭檜笠」（県指定伝統的工芸品） | 蘭檜笠生産協同組合 | 350千円 |
| ・「田立和紙」 | 田立和紙保存振興会 | 300千円 |

○南木曾地域産業労働安全大会

- ・町、木曾森林管理署南木曾支署、商工会共催
- ・7月19日 62名参加 南木曾会館
- ・講話「正しい労働条件の確保と労働災害の防止について」
（松本労働基準監督署 署長・松本労働基準監督署 安全衛生課長）

○木曾勤労者共済会

- ・会 員 数 183名（令和2年3月末現在）
- ・加入事業所数 40企業
- ・共済給付事業 祝 金 26件 226,000円
見舞金 3件 110,000円
弔慰金 2件 79,000円。

- ・融資事業（生活資金・住宅改良資金） 0件
町村預託金 2,000千円 長野県労働金庫木曾福島支店
- ・人間ドック利用補助 21件 66,736円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 999,440円

○集合型商業施設（ショッピングセンター）の検討

平成28年度から商工会・町・関係者において南木曾町ショッピングセンター開設協議会を立ち上げ、南木曾商工会付近での集合型ショッピングセンター建設を目指し協議・検討を重ねた結果、建物移転の問題、社会的な経済状況の変化等により協議会として商工会周辺での集合型ショッピングセンター開設計画は実現が難しいということで断念する形となった。計画の検討は終了したが、今後は買い物弱者対策や駅前商店街の活性化等について、商工会が中心となって検討していく予定。

○プレミアム付き商品券事業

消費税・地方消費税率引き上げによる、低所得者（住民税非課税者）・子育て世帯（3歳未満の子が属する世帯主）の消費に対する影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、国庫補助事業によるプレミアム付き（25%分）商品券の販売を行った。

・対象者数等（単位：人）

	非課税者	子育て世帯	計
対象者	804	73	877
申請者数	289	73	362

・換金額（単位：円）

換金額	通常分	プレミアム分
6,577,000	5,261,600	1,315,400

・事務費 2,999,301円（システム委託料、販売・換金委託料、商品券印刷代等）

※換金額のプレミアム分、事務費は全額国庫補助対象。（H30・R1 繰り越し分含む）

（2）消費生活

○消費者相談等への対応

・町への苦情相談問い合わせ件数23件（内 クーリングオフ手続き指導：1件、契約解除指導：3件、警察・消防へ通報・情報提供：0件、放送による周知：3件、相談受付のみ：14件、県消費生活センター斡旋：2件）

・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施

○リサイクル運動 廃油の回収と廃油利用（回収実績4100）

（3）運輸関係

○中央西線輸送強化期成同盟会部会

木曾地域交通網対策協議会で、JRへの要望活動を実施

令和元年 8月 2日 中央西線（JR東海）利用に係る要望書を長野県へ提出

令和元年12月17日 JR東海本社への要望活動

令和2年 1月 8日 「長野県JR連絡調整会議」（県庁）

○南木曾駅窓口業務の受託（平成24年10月1日～）

JR東海の南木曾駅無人化を受け、窓口での乗車券類の販売業務を町が受託して実施

・営業時間 午前7：50～午後4：05

（昼休憩 11：10～11：30 12：35～13：15）

・業務時間 午前7：30～午後4：30

・窓口従事者 1人体制

乗車券類販売額 43,842千円（H30 46,349千円）

販売手数料 2,048千円 乗車券5%、定期券1.8%
（H30 2,170千円）

- ・運営経費 賃金:3,252 需用費:198 使用料:250 (単位:千円)
- ※H30 賃金:3,213 需用費:233 使用料:248 (単位:千円)

(4) 地元特産品の宣伝開発等

- 工芸街道祭り (実行委員会主催)

11月2日～11月3日 (町補助金:300千円)

2. 観光

(1) 観光行事、イベント関係

- 第18回なぎそミツバツツジ祭り (実行委員会主催)

4月6日～21日 (物産販売:6日～14日) (町補助金:300千円)

来客数:2,214人 バス・マイクロバス 6台 乗用車 813台 二輪車 11台

※H30 来客数:3,386人 バス・マイクロバス 20台 乗用車 1,115台 二輪車 13台

出店者売上(17店) 1,944千円 ※H30(18店) 2,191千円

- 田立の滝滝開き 4月26日
- 蘭桧笠生産協同組合総会 5月15日
- 南木曾山麓蘭キャンプ場・南木曾岳登山安全祈願祭 6月8日
- 南木曾ろくろ工芸協同組合総会 6月24日
- 田立和紙保存振興会総会 7月12日
- 妻籠宿火まつり 8月25日
- 与川古典庵の観月会 9月13日
- 田立の花馬祭り 10月6日
- 工芸街道祭り 11月2日～3日
- 文化文政風俗絵巻之行列 11月23日
- 新春狼煙上げ 1月4日
 - ・蘭桧笠 PR キャラバン (7月9日) 天龍峽他
 - ・ろくろ展示販売イベント (2月7月～20日) 東京都青山スクエア

(2) 広告宣伝関係

- パンフレット類の作成 (一部観光協会とタイアップ)

- ・観光総合パンフ「ぶらり南木曾」 20,000部
- ・「ガイドマップ南木曾町」 20,000部
- ・「妻籠宿リーフレット」 20,000部
- ・「柿其溪谷リーフレット」 10,000部

- メディア関係広告掲載

- ・新聞広告、旅行紙広告に観光協会とタイアップして掲載 (年間随時)
- ・各種取材への対応
- ・TV放送取材の対応

- 南木曾町観光協会公式ホームページ「ぶらり南木曾」

- ・英語版、スマホ英語版への対応管理、運営

(3) 観光施設

- 古民家等観光資源化支援事業 重伝建保存地区妻籠宿 旧JA木曾妻籠購買店修理工事
 (一社)南木曾町観光協会事務所に整備 工事費 11,484,000円
 用地費 2,430,000円
- 妻籠宿第2駐車場管理棟整備事業
 管理棟の整備 工事費 4,103,000円
- 眺望景観整備事業
 眺望を確保するため立木を伐採
 ・ミツバツツジ群生地前展望台下眺望景観整備 事業費 1,287,000円
- 観光施設修繕工事等 合計 4,929,717円
 ・防犯カメラ設置(天白公園、田立駅)、ミツバツツジ群生地付近整備、田立の滝オートキャンプ場
 トイレ改修、南木曾岳登山道(蘭側ルート及び上の原ルート)笹刈り、田立の滝遊歩道熊除け用
 鈴設置、SL公園支障木伐採、他
- 観光施設、登山道、歩道等の維持管理(草刈、小修理など)
 ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道、南木曾岳登山道、川西古道、与川歴史の道、SL公園、他
 ・天白公園ツツジ園(中学生、シルバー人材センターによるボランティア作業も実施)
- 観光案内板等の小修理、維持管理
 ・田立の滝、南木曾岳、柿其溪谷、天白公園、妻籠宿、他
- 福沢桃介記念館と山の歴史館 指定管理委託：桃介橋河川公園組合
 (指定期間)平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
 指定管理料：1,600,000円(河川公園と併せて)

(利用状況)

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	合計	H30実績
484	286	208	119	165	160	217	256	19	1,914	1,776

※12月～3月下旬まで冬季閉館

(4) 広域観光連携の取り組み

- 木曾観光連盟・観光宣伝協議会と連携した取り組み
 ・「木曾路フリーきっぷ」とのタイアップ(主催：JR東海) 4,362名
 バス・タクシー利用券+観光施設無料入場券(4,000円)
 お買い物券(妻籠宿登録店：2,000円)
 ・「日帰り1day木曾路」宿場町散策マップを付けた旅行商品(通年販売) 113名
- 木曾広域観光振興プロジェクト会議との連携
 ・茶摘み体験と郷土食を味わうプログラム(田立5月17日～18日) 19名
 ・「季刊誌木曾路(年4回発行)」による旬な情報発信
- 中津川市、阿智村、木曾広域圏との連携
 ・県際交流協議会 広域観光連携の推進 着地型旅行商品の研究
 (南木曾町・中津川市・大桑村・上松町・玉滝村・阿智村)

○伊那路・木曾路広域観光連携会議との連携

- ・伊那路・木曾路広域連携観光PR展（名古屋駅6月7日～8日）
- ・ツーリズムEXPOジャパン（大阪市10月23日～27日）
- ・伊那路木曾路広域観光連携促進フォーラムの開催（木曾町 2月17日）

○尾張藩連携事業推進協議会との連携

かつての尾張藩に所縁のある名古屋市、犬山市、郡上市、下呂市、中津川市、塩尻市、木曾郡6町村の自治体と民間企業が連携し、尾張藩連携事業推進協議会を設立した。今後は、名古屋を起点とする昇龍道中央エリアを周遊する尾張藩周遊ルートを新たに形成し、欧米豪からの集客を目的とした広域観光プロモーションを実施していく。

(5) 観光協会等

○南木曾町観光協会（町補助金：通常分 550,000円 観協人件費分 1,300,000円
合計 1,850,000円）

・平成30年度に専門部会「南木曾町観光協会 DC・民営化部会」、理事会等で法人化の研究を行い平成31年度に一般社団法人を設立することが確認され、通常総会開催時に解散総会と設立総会を行うよう準備を進めた。

- ・7月30日解散総会開催

○(一社)南木曾町観光協会（町補助金：4,150,000円）

- ・7月30日設立総会開催

【設立要旨】

観光事業者が中心となり、観光客を温かく迎え入れる気運の醸成を図るとともに、多様な国籍、ニーズ、世代を受け入れられる質の高いサービスを提供できる仕組みづくりなど、リピーターが増加する観光地づくりを推進するべく一般社団法人南木曾町観光協会を設立する。

・役員会において閉鎖した旧JA木曾妻籠購買店を(一社)南木曾町観光協会の拠点とし事務所を設置する事を決める。観光庁の補助金により町で内装整備を実施した。

○南木曾駅観光案内所（開設期間）平成31年4月1日から令和2年3月31日まで
臨時職員を雇用し、1日1名体制（4名で運営：観光客案内、駅前公園の清掃等）

○木曾観光復興対策協議会

観光業を中心として御嶽山の噴火により深刻な影響を受けた木曾地域の復興を図るため、県、郡内町村、木曾広域連合、木曾観光連盟、木曾郡内観光協会等で組織する協議会を平成26年度に設立。復興事業、PR活動等実施した。

加盟団体：木曾観光連盟、長野県観光連盟、日本観光協会、みなみ木曾路連絡協議会、中央アルプス山岳観光協議会、日本桜の会、国有林観光施設協議会、日本の森滝渚全国協議会、木曾地区温泉協会、全国街道交流会議、信州まつもと空港利用促進協議会、南木曾伝統工芸の森育成協議会、伊那路木曾路広域観光連携会議、尾張藩連携事業推進協議会

○南木曾駅観光案内所対応件数 (※窓口で対応した件数・人数。外国人は通過者数。)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問 合 件 数	R1	1,244	1,033	730	837	970	944	1,203	1,097	406	334	298	422	9,518
	H30	1,065	893	641	746	833	843	1,054	885	348	249	314	695	8,566
	H29	835	807	507	680	777	659	805	638	296	264	277	600	7,145
	H28	554	557	377	528	590	591	730	616	272	212	269	545	5,841
案 内 人 数	R1	3,037	2,602	1,796	2,102	2,325	2,169	2,993	2,594	894	700	614	861	22,687
	H30	2,645	1,971	1,344	1,799	1,903	1,887	2,630	2,191	833	535	688	1,659	20,085
	H29	2,061	1,857	1,097	1,592	1,700	1,392	1,868	1,433	672	549	625	1,413	16,259
	H28	1,329	1,230	783	1,153	1,315	1,350	1,567	1,557	564	433	750	1,365	13,396
外 国 人	R1	4,402	3,538	2,399	2,902	3,067	3,060	4,723	3,539	781	607	529	643	30,190
	H30	4,463	3,315	1,850	2,680	3,000	2,602	4,159	3,128	732	431	498	2,004	28,862
	H29	4,050	2,798	1,636	2,282	2,493	2,134	3,837	2,596	703	566	648	1,959	25,702
	H28	3,133	2,313	1,378	2,290	2,360	1,877	3,476	2,183	725	464	597	1,627	22,423

○観光客入込数

単位：百人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曾 山麓	南木曾 温泉郷	富貴畑高原 温泉郷	合計
R1	3,867	135	49	184	1,847	132	6,214
H30	3,655	138	39	169	1,121	140	5,262
H29	3,849	149	30	170	378	131	4,707
H28	3,943	148	31	145	412	117	4,796

○中山道馬籠峠を越える外国人ハイカー [(公財) 妻籠を愛する会調べ]

地点：一石栃立場茶屋

単位：人

R1	37,829	H30	31,032	H29	25,513	H28	22,882
----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

3. 地域交流

○「日本で最も美しい村」連合

- ・ 4月18日 連合長野県会議 木曾町
- ・ 4月25日 連合担当者会議 東京都
- ・ 6月27日～29日 連合定期総会・フェスティバル 奈良県吉野町
- ・ 10月3日 連合長野県会議PR活動(名古屋) 金山駅

○長久手市との交流

通年：観光施設で交流町村優待サービス事業

- ・ 4月1日～ 新生児祝い品事業 実績数：633件 (H30：650件)

- ・ 7月 11日 平成こども塾受け入れ打合せ 南木曾町
 - ・ 8月 8日 平成こども塾受け入れ（マスつかみ） 南木曾町
参加者：長久手市 49名、南木曾町 72名
 - ・ 10月 17日 ながくて市民まつり出店者説明会 長久手市
 - ・ 11月 10日 ながくて市民まつり 長久手市
- 上下流交流
- ・ 10月 1日 第1回上下流交流実行委員会 木曾町
 - ・ 12月 1日 木曾川と堀川・上下流を繋ぐ交流会 名古屋市
 - ・ 3月 5日 第2回上下流交流実行委員会（新型コロナウイルスにより中止）（書面会議）
- 木曾三川流域連携
- ・ 5月 10日 第1回木曾三川流域連携課長会議 名古屋市
 - ・ 8月 28日 第2回木曾三川流域連携課長会議 名古屋市
 - ・ 1月 26日 木曾三川流域連携シンポジウム 名古屋市
 - ・ 2月 7日 第3回木曾三川流域連携課長会議 名古屋市

令和元年度 商工観光関係 工事関係

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
古民家等観光資源化支援事業 重伝建保存地区妻籠宿 旧J A木曾妻籠購買店修理工事	建物整備	設計費 803 工事費 11,484 用地費 2,430	5,000		5,700	2,430	1,587	内装整備
妻籠宿第2駐車場管理棟整備事業 (駐車場特別会計)	管理棟整備	設計費 517 工事費 4,103				927	3,693	屋根、外壁等補修

4. 農政関係

(1) 農業委員会事務局関係

①委員会協議・処理対応事項

- ・ 定例委員会・・・12回（毎月）
- ・ 農地案件の現地確認調査
- ・ 農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議
- ・ 農地利用の最適化にむけた地区懇談会への参画
- ・ 転作の現地確認・中山間直払等現地確認
- ・ 農地利用状況調査・農地利用意向調査
- ・ 農地無断転用防止のパトロール活動
- ・ 農作業安全運動推進PR
- ・ 農作業標準料金の審議
- ・ 農地農家台帳システムの整備（フェーズ2への移行）
- ・ 町内各生産部会等への参画と町内農事懇談会への参加
- ・ 全国農業新聞普及・拡大の取り組み
- ・ 長野県農業委員大会と各種研修会（県農業会議・情報活動・郡事務研）への参加

②農業委員名簿

【農業委員】

任期 平成30年2月15日～令和3年2月14日

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
伊藤 兼彦	妻籠地区	地区推薦	古井 小恵子	田立地区	地区推薦
松原 徳則	与川・北部地区	地区推薦	片田 恵	田立地区	地区推薦
尾崎 省吾	蘭・広瀬地区	地区推薦	小原 明信	蘭・広瀬地区	地区推薦
山川 あゆみ	三留野地区	地区推薦	青木 房江	妻籠地区	団体推薦
早川 親利	三留野地区	団体推薦	小倉 敏保	田立地区	地区推薦
小倉 勉	与川・北部地区	地区推薦	11名		

【農地利用最適化推進委員】

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書地区全域	地区推薦	松下 建三	吾妻地区全域	地区推薦
高橋 民義	田立地区全域	地区推薦	3名		

③令和元年度農地関係取扱件数

（面積は小数点以下第1位で四捨五入）

内 容	件数	面積(m ²)
農地法第3条による所有権移転（売買等による農地の所有権移転）	5	8,275
農地法第4条による農地転用 （所有権者本人による農地以外への転用）	0	0
農地法第5条による農地転用 （所有権移転または貸借等の権利設定を伴う農地以外への転用）	6	4,711
公共事業による農地転用	3	4,553
非農地証明	7	6,626

参考：令和元年度における農地以外への地目変更面積 15,890 m²

(2) 農業振興関係

①経営所得安定対策と米政策

経営所得安定対策では、米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図るため実施されている。町では木曾郡農業再生協議会を中心に米及び有利な転作作物の推進を図った。

現地確認は農業委員と集落協定関係者で実施した。

・事業の内容

町内に交付された交付金は総額 6,639 千円 (H30 年度 6,565 千円) となった。

○水田活用の直接支払交付金

(1) 戦略作物助成 (前年)

作物名	単価 (円/10a)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
大豆	35,000	31 (28)	108,500 (98,000)
飼料作物	35,000	812 (834)	2,842,000 (2,919,000)
発酵用稲 (WCS)	80,000	262 (237)	2,096,000 (1,896,000)
合計		1,105 (1,099)	5,046,500 (4,913,000)

(2) 産地交付金

	単価 (円/10a)	交付金額 (円)
産地交付金	※下記単価参照	1,371,538 (1,652,489)

※対象作物要件：助成対象水田で品質向上、生産性向上の取り組みがなされていること
(以下 10 ㌥当り単価)

水田における生産性向上等の取組

そば：5,835 円 大豆：8,500 円 飼料作物：9,000 円 WCS：22,000 円

地域振興作物の生産

ハクサイ・スイートコーン・赤かぶ：23,000 円

インゲン・トマト・えごま・トルコギキョウ・ユリ・リンドウ：19,000 円

耕畜連携 (水田放牧)：14,000 円

○水田農業協同利用施設整備事業補助金

事業主体 JAファーム

事業費 6,404,400 円 補助金 800,000 円

その他財源内訳 (大桑村負担 400,000 円 自己負担 5,204,400 円)

事業内容 コンバイン購入

②地域農業対策

地域営農体制の整備、農地の有効活用により持続的な農業生産を可能とする農業構造を構築するため、各種の取り組みを実施した。

○農業関係制度資金利子補給金 2 名 26,182 円

○農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

令和元年度利用実績 0 件 貸付現在高 (令和元年度末) 0 件 0 円

○農振農用地一般管理事業

編入面積 0 m² 除外面積 0 m² 用途変更 0 m²

○農地利用集積計画

利用権設定面積 (農業経営基盤強化促進法に基づくもの)

年度	設定面積	年度末計画面積合計
平成 30 年度	5.2ha	26.6ha
令和元年度	5.3ha	25.7ha

(設定面積は該当年度における利用権の新規設定および更新の合計)

○人・農地プラン

「人・農地プラン」とは、集落毎に10年後の農地の管理方針を定めるもので、後継者の有無、貸出希望などを個々の圃場毎に確認し、集落全体としてどのように管理していくかを計画するものです。

今年度は、中山間直接支払の集落協定に対して、国の方針に基づきプランの作成工程であるアンケート及びアンケート結果を反映した図面の作成を行った。

次年度に具体的なプランの作成を行う予定。

主なアンケート結果

後継者不在の圃場：中山間集落協定全体の約42%

後継者不在圃場のうち他者又は団体等へ貸出希望：全体の約47%

③中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払制度は、第4期対策として平成27年度から5年間の活動を行い、今年度が最終年度となった。約172㌦の農地を対象に26集落1個別協定で実施。

交付金 36,597,316 円（内訳：国 18,298,649 円 県 9,149,310 円 町 9,149,357 円）

集落名	面積 (㎡)	交付金 (円)	集落名	面積 (㎡)	交付金 (円)
与川1区	88,468	1,726,858	橋場	43,728	916,748
与川3区	81,445	1,628,445	大妻籠下り谷	60,982	1,337,852
与川4区	72,358	1,368,679	上在郷	49,810	1,143,456
与川5区	33,662	813,972	尾越	18,470	426,516
十二兼	51,411	994,739	上段	53,759	1,128,939
本谷	81,034	1,701,714	蘭	20,593	432,453
岩倉	84,878	1,856,172	元組	90,611	1,902,831
椰野	20,409	428,589	向粟畑	103,977	2,141,237
川向	27,712	409,209	粟畑	117,876	2,428,030
上の原	137,381	3,230,888	下切	89,765	1,933,151
神戸	42,340	939,864	大野	64,792	1,667,766
渡島	11,304	202,769	正兼	80,822	1,982,106
妻籠町上	43,718	715,463	塚野	130,984	2,860,116
			神橋(個別)	13,274	278,754
			合計	1,715,563	36,597,316

④園芸特産振興事業

・茶の振興関係

田立製茶工場

操業 5月14日～6月3日(20日間) 生葉受入 12.1トン(前年度△4.5ト)。

第46回長野県茶の共進会

開催日 7月2日(火) 場所 南信濃自治振興センター(飯田市)

総出品点数 27点(内、町内出品点数6点)

町内入賞者 3等賞1名 特別賞 蘇南高校

・野菜関係

農協を通じ農家の自主的運営で野菜直売が行われている。主に田立地区を中心とした農家で取り生まれ、A コープで販売されている。

地元消費拡大を目的に生産・販売・消費・観光関係者で「地産地消推進協議会」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会が活動を行った。「軽トラ市場」は7月から12月まで14回開催した。その他学校給食食材供給者に対して運搬費補助を実施した。

【軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況】（ ）は前年数値

開催数	売上合計	延べ出店者数	主な開催場所
14回 (14回)	454,930円 (568,450円)	70店 (78店)	南木曾駅横駐車場・南木曾会館・社会体育館・笠の家・広瀬分館

【学校給食食材提供運搬補助実績】（ ）は前年数値

	【小学校】			【中学校】		
	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)
合計	115回 (113回)	33,510円 (35,510円)	255,706円 (291,775円)	223回 (191回)	54,090円 (46,560円)	232,407円 (397,339円)

・花卉・花木関係

出荷数量

品種	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ヒペリカム	2,860本	3,924本	3,255本	6,025本	3,160本
こうやまき	17,936本	13,956本	14,725本	23,171本	29,377本

※数値は南部花卉部会の数値

・みつばちふそ病関係

ふそ病検査を、松本家畜保健衛生所に協力して実施した。(対象戸数7戸)
(発生の確認なし)

広報誌により新規飼養者への届出等の必要性について周知を行った。

・園芸特産品振興事情補助金

岩倉むらおこし組合(漬物加工施設運営補助) 補助金50,000円
パイプハウス設置補助 1件 補助金300,000円

⑤畜産振興事業

・家畜飼育状況(平成31年3月現在) (単位:頭)

年度	乳牛		肉用牛	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖牛数
27	1	27	10	59
28	1	30	10	61
29	1	32	9	64
30	1	23	8	63
元	1	22	8	71

- ・家畜市場（子牛）状況の推移（令和2年2月末現在）（単位：千円）

年度	雌		去勢		子牛全体		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
27	31	565	26	723	57	637	36,347
28	25	671	28	811	53	745	39,490
29	26	693	33	780	59	742	43,775
30	28	678	24	770	52	720	37,462
元	18	669	26	782	44	751	32,883

- ・家畜診療関係

平成16年度からNOSAI長野中信地域センター（旧NOSAI中信診療所）へ委託。

令和元年度負担金 837,000円

（内訳 運営負担金 362,000円、木曾地域特別負担金 475,000円）

- ・素牛導入事業

1頭導入 補助金額 300,000円 【補助率1/2 上限30万】

- ・町有牛導入事業

2頭導入 1,631,670円

年度末保有町有牛 6頭 評価額 計4,914,253円

- ・遊休荒廃地発生防止対策補助金

機械購入補助（ロールベラー）1機 補助金額 700,000円

自給飼料を活用した遊休荒廃地発生防止対策を目的とした補助金

今後、畜産クラスター計画と整合性を図っていく。

- ・長者畑草地関係

長者畑草地利用組合の解散により、令和元年度から町管理となった。

今後、返地に向けて木曾森林管理署との協議を進める。

- ・大原公共採草地管理関係

大原公共採草地管理組合（組合員5戸）

現在、草地の一部を公共工事の残土処理場等として一時的に利用しているが、返地がされた箇所は牧草を播種し草地としての利用を開始した。

- ・放牧関係

飼料自給率の向上と労力軽減を図ることを目的とした放牧事業（小規模ブロック移動放牧）を平成23年度から引き続き実施している。牛の放牧については、放牧期間中は畜舎が空くため日常的な家畜の管理が不要となる等のメリットはあるものの、遠方に放牧することにより、見回り等が必要となるため、飼育に対する負担感が発生する場合もあり、面積は減少傾向にある。

放牧期間・面積 5月から10月（6カ月）約6ha

放牧場所：与川・上の原・夏虫・塚野

牛の放牧に加えて綿羊（サフォーク種）の放牧も実施しており、牛に比べて移動が容易である等のメリットがあるが、個体数が少なく需要に追いついていない状況である。

⑥農作物有害鳥獣被害対策事業補助金

- ・電気柵を購入・設置した場合に購入経費の2分の1を補助（上限3万円 ただし中山間地域直接支払制度受益農地は対象外）を実施した。

令和元年度実績：2件 【補助金：36,190円】

⑦農業技術の普及・改善・指導・試験研究

農業関係の普及事業等について農業改良普及センターや農協との連携及び農技連の活動により推進した。

- ・農事(気象・防除等)に関する広報活動
- ・農技連総会 6月19日
- ・稲作現地指導会 6月(26か所)
- ・農事懇談会 資料配布による情報提供等
- ・里芋実証試験栽培 5月～
- ・蘇南高校そば栽培協力 7月～

(別表)

令和元年度 農政関係主要事業

(1) 農業委員会事務局関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
農業委員会運営経費(最適化事業)		14名	3,681		1,454			2,227	
機構集積支援事業			416		395			21	
合計			4,097		1,849			2,248	

(2) 農業振興関係

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
水田農業構造改善対策事業			179		129			49	
中山間地域等直接支払交付金		27協定	36,597	18,298	9,149			9,150	
農業経営基盤強化資金利子補給事業		2件	26					26	
水田農業協同利用施設整備事業補助金	JA 木曾	コンバイン1台	800					800	JA (6,404)
素牛導入事業		和牛1頭	300					300	
町有牛導入事業		和牛2頭	1,632				1,632		
NOSAI 中信家畜診療所負担金			837					837	

5. 農村整備関係

(1) 町単小規模修繕事業

○土地改良施設修繕

中山間直接支払制度の対象地域外の施設修繕を実施した。

(農道1件、水路3件)

○土地改良施設原材料支給

・農道整備原材料支給

各区で実施する農道整備のための原材料支給を行った。(1件)

(2) 土地改良施設維持管理適正化事業

本事業は、施設の整備や補修など維持管理を目的に事業費の3割の額を5年の間に拠出金として積立て、事業実施年度に国・県の補助金を合わせた9割の交付金と1割の受益者負担で実施できる事業。

令和元年度は与川一区「向田水路」を現地調査し、令和5年度に改良工事が実施できるよう採択申請を行った。

(3) 農地農業用施設災害復旧事業

令和元年災は、豪雨により8月に6箇所(農地2箇所、農道3箇所、水路1箇所)が被災し、町単災害復旧事業により復旧工事を実施した。

(4) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された危険性の高い水路を対象に県営で整備するもので、測量試験費と長土連特別賦課金で実施できる事業。(県は工事、町は設計を実施する。)

令和元年度は、平成30年度繰越事業である戸場地区「戸場水路」の改良工事を実施した。また、上の原地区「中の平水路」の新規地区採択申請を行い、改良工事を実施した。

(5) 農村地域防災減災事業

農道与川大橋は、平成29年度に県営事業にて実施設計が行われ、平成30年度から耐震改修工事に着手し、令和元年度に竣工した。

上越野・下切跨線橋(JR跨線橋)について、大規模地震に対する耐震性の評価・耐震補強の検討を行い、災害防止効果の算定や事業計画を策定し、新規地区採択申請を行った。

(6) 小水力利活用促進事業

平成27年度の小水力発電案件形成事業により、経済性が見込まれた細野洞水路について、平成28年度に小水力概略設計支援事業を活用して、詳細な発電計画及び概略施工計画等を策定し、経済性の評価やCO2削減効果も含めた総合評価

を行った。平成29年度に計画概要書を作成し、農業水路等長寿命化・防災減災事業の新規地区採択申請を行い、平成30年度に工事着手した。

令和元年度は、平成30年度繰越事業である導水管敷設工事を実施した。また、立木補償を行った他、設計監理業務、発電施設建設工事、導水管敷設工事を発注し、次年度へ繰越した。

(7) 農業用ため池ハザードマップ作成事業

町内9箇所ある農業用ため池の内、大屋（恋野地区）、大島（橋場地区）、ネギ様（栗畑）の3箇所について「防災重点ため池」に選定し、農業水路等長寿命化・防災減災事業を活用して、現地調査及び氾濫解析を行い、農業用ため池ハザードマップを作成した。

(8) 国土調査事業

令和元年度の国土調査事業は、田立栗畑・大野正兼地区の山林部を実施した。

事業実績	調査区名	事業内容	事業費
地籍調査事業	田立の一部 24区	地籍図原図作成、地積測定、地籍図及び地積簿作成、最終取りまとめ 0.24km ²	8,064,535円 (7,700,000円) () 内補助対象額
	田立の一部 25区	地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量 0.38km ²	

国土調査実施地区一覧

年度	地区名	成果面積 (k m ²)	成果筆数 (筆)	区分	認証日	登記完了日
52-18	本谷～下切 28 地区	17.23	23,830	平地		
18-22	下切・塚野の一部 (山林) 4 地区	2.52	144	山林		
22-23	塚野の一部(山林)	0.18	31	山林	24.11.12	25.3.8
23-24	塚野の一部(山林)	0.14	44	山林	25.11.20	26.6.6
24-25	塚野の一部(山林)	0.09	25	山林	29.11.9	30.2.5
25-26	塚野の一部(山林)	0.33	71	山林	30.5.7	30.8.10
26-27	塚野・大野正兼の一部(山林)	0.46	105	山林	31.2.21	元.5.28
27-28	大野正兼の一部(山林)	0.29	62	山林	元.8.29	元.10.16
28-29	大野正兼の一部(山林)	0.38	156	山林	未	未

29-30	大野正兼の一部(山林)	0.29	72	山林	未	未
30-元	栗畑・大野正兼の一部(山林)	0.24	84	山林	未	未
元-2	栗畑の一部(山林)	0.38	38	山林	未	未
計		22.53	24,662			

地籍調査対象面積 73.96km² (平坦部17.23km² 山林部56.73km²)

平坦部成果面積計 17.23km² (進捗率100%)

山林部成果面積計 5.30km² (進捗率9.3%)

(9) 多面的機能支払交付金事業

第2期対策(令和元年度から令和5年度)の初年度として実施。

農地の維持や施設の長寿命化に取り組む活動に対して交付金を交付。

交付金5,955,160円(内訳:国2,977,580円 県1,488,790円 町1,488,790円)

地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)	地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)
与川1区	843	641,224	神戸	279	201,700
与川3区	689	301,312	元組	917	273,848
与川4区	671	442,800	向栗畑	1,056	749,800
与川5区	329	98,700	栗畑	1,074	732,000
岩倉	849	739,352	下切	862	246,800
椰野	189	56,700	大野	626	280,448
川向	276	73,000	正兼	799	577,700
上の原	1,227	539,776	合計	10,686	5,955,160

(10) 圃場の不具合改善に向けた基礎資料

水田において、基盤や排水の不具合が発生している圃場が増えてきたことから、平成30年度に引き続き中山間集落協定地を対象として実態調査を行った。

調査対象圃場 1,920筆 1,715,563m²

主な調査結果

基盤の不具合がある圃場 273筆 改修が必要な面積27,579m²

排水の不具合がある圃場 123筆

[別表]

令和元年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1. 土地改良事業関係

①. 農道整備事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
町単農道整備事業	尾越	農道修繕 1箇所	209				21	188	
	恋野	原材料支給 1箇所	131					131	生コンクリート t=5.9m ³
農村地域防災減災事業	上越野・下切 跨線橋	上越野・下切跨線橋耐震性能 評価調査等 一式	16,005	16,000				5	
	与川大橋	県営農村地域防災減災事業 与川大橋地区負担金	6,500		5,800			700	
	小計		22,845	16,000		5,800	21	1,024	

(単位:千円)

②. 小水力利用促進事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
農業水路等長寿命化・防災減災事業	東町 (細野洞)	導水管敷設工 L=337.0m	20,974	11,521	209	6,900		2,344	※平成30年度繰越事業
		立木補償費 35本	54					54	
		設計監理 一式	(1,980)						
		発電施設建設工 一式	(72,642)						
		導水管敷設工 L=294.0m	(22,220)						
小計			21,028	11,521	209	6,900		2,398	※次年度繰越

(単位:千円)

③. かんがい、水路改良事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
町単水路改良事業	町内	水路修繕 3箇所	728				73	655	上仲町・東町・寺
県単緊急農地防災事業	上の原 (中の平)	実施設計 一式	396				40	356	水路工 L=30.5m
農業水路等長寿命化・防災減災事業	町内	農業用ため池ハザードマップ 作成 3箇所	902	900				2	大屋、大島、ネギ様
小計			2,026	900			113	1,013	

(単位:千円)

④. 災害復旧事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
町単災害復旧事業	町内	修繕 6箇所 (農地 2箇所・農道 3箇所・水路 1箇所)	2,090				57	2,033	与川一区、与川三区、上の原
小計			2,090				57	2,033	

(単位:千円)

土地改良事業合計

28,421	209	12,700	191	6,468
--------	-----	--------	-----	-------

(単位:千円)

2. 国土調査事業関係

(単位:千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
国土調査事業	田立 栗畑・大野正兼 山林24・25区	24区(0.24k㎡:84筆)	8,065	3,850	1,925			2,290	
		25区(0.38k㎡:38筆)							
国土調査事業合計			8,065	3,850	1,925			2,290	

(単位:千円)

農村整備関係合計			56,054	32,271	2,134	12,700	191	8,758	
----------	--	--	--------	--------	-------	--------	-----	-------	--

6. 林 務

(1) 林業振興関係

(ア) 民有林振興対策事業

民有林振興対策として林業家の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

① 林業指導啓発事業

南木曾町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

② 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて851,951円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位：ha・円・m)

作業種	元年度		30年度		29年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地拵え	—	—	—	—	—	—	
新 植	—	—	—	—	—	—	
下 刈	—	—	0.85	—	3.50	—	
枝 打	3.0	—	—	—	—	—	
除 伐	3.0	—	3.32	—	0.70	—	
獣害防止	2.0	—	2.50	—	2.80	—	
間 伐	30.44	851,951	14.27	367,444	32.39	911,202	
除間伐	—	—	—	—	0.10	—	
搬出間伐	5.56	—	14.34	—	4.57	—	
改 植	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	
(竹林整備)	—	—	—	—	—	—	
計	44.00	851,951	35.28	367,444	44.06	911,202	
作業路	725	—	1,225	—	400	—	
合計	44.00	851,951	35.28	367,444	44.06	911,202	

国庫補助事業の対象となる搬出間伐を西山町有林で実施したが、町発注業務としたために、嵩上補助の対象とはなっていない。

③ 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曾町林業研究クラブに150,000円を補助した。

④ 森林経営管理制度

県が主導し、木曾広域連合内に森林経営管理制度に対応する部署の令和2年度設立にむけて郡下町村で協議検討を行った。

(イ) 植樹祭

10月4日、国有林内において、令和2年度木曾森林管理署南木曾支署・南木曾町合同植樹祭を行う予定だったが、豚コレラウイルス蔓延防止のため開催中止となった。

(ウ) その他

◎ みどりの募金

期間	4月1日～5月31日				
募金額	236,821円	内訳	世帯募金	211,950円	
			街頭募金	21,876円	
			職場等	2,995円	

◎ みどりの少年団

木曾地区みどりの少年団交流集会在、7月31日に王滝村松原スポーツ公園で南木曾小学校みどりの少年団が参加する予定だったが、豚コレラ蔓延防止のため中止となった。

◎ 南木曾中学校体験学習

4月15日	椎茸植菌作業事前学習（講師：木曾地域振興局林務課）
24日	椎茸植菌作業 1年生対象に実施
10月18日	林業体験事前学習（講師：南木曾町森林組合）
23日	田立の学校林にて、林業体験（豚コレラ蔓延防止のため中止）

◎ 森林の里親促進事業

福澤桃介が初代社長であり、愛知県名古屋市に本社のある、大同特殊鋼(株)がH28年度に創業100周年を記念して、福澤桃介ゆかりの地である南木曾町と森林の里親契約を締結している。今年度も昨年度に引き続き、森林整備のために年100万円の寄付をいただき、大同特殊鋼(株)の社員の皆さんと共に山林整備を実施した。

4月8日	新人社員研修
5月14日	新人社員研修（大同特殊鋼の都合により中止）
10月30日	秋の間伐作業（豚コレラ蔓延防止のため中止）

(2) 町有林関係

(ア) 町有林造成事業

令和元年度の実施内容は以下のとおり

搬出間伐	(西山町有林)	5.56ha
保育間伐	(袖が沢町有林)	2.0ha
獣害防除	(袖が沢町有林)	2.0ha
枝打	(下安町有林)	3.0ha
除伐	(天白町有林)	3.0ha

(イ) 山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

山林委員名簿

委員長：楯 勇志 副委員長：田中 淳司

読書	楯 勇志	吾妻	亀山 寿幸	田立	小幡 征海
	田中 淳司		大蝶 正理		林 重利

任期：平成28年5月1日～令和2年4月30日まで 4年間

山林委員会は、2回開催した。

山林委員の町有林巡視を補助するため、南木曾町森林組合に巡視の一部を委託した。

(委託料：240,000円)

(3) 林道開設・改良等事業

(ア) 林道開設 実施なし

(イ) 林道改良 林道畑沢線改良事業

(ウ) 作業道開設

西山町有林搬出間伐業務に伴い搬出路として作業道を町有林内に開設した。

開設により高性能林業機械が侵入可能となり作業効率が向上した。

西山町有林作業道開設

R元年度 延長725.0m、幅員3.0m

(4) カモシカ対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが、農作物を対象とした被害は拡大傾向となっており依然として被害は後を絶たない。

個体数調整事業は、第二種特定鳥獣管理計画に基づき被害状況から捕獲計画頭数を10頭としたが、長野県で精査した結果計画頭数が3頭となり捕獲実績も3頭となった。

(5) 森林病虫害等防除対策事業

・松くい虫防除対策

補助事業により南木曾町から大桑村への北上防止を実施するとともに、生活道路周辺の危険木と合わせ伐倒・くん蒸処理を実施した。

県補助事業により被害拡大防止に努めているが、北上防止を優先しており、大桑村町村境周辺のみ実施としている。このためその他地域では処理が進まず、町内の被害は拡大している。枯損木となり公共施設へ倒木することにより人身被害及び物損被害の懸念のある木については地権者の申請により伐採のみ町で実施している。

・カシノナガキクイムシ対策

県補助事業により、被害拡大防止に可能な範囲で実施している。

被害の拡大は一時沈静化の状況である。

(被害地域の被害対象となる大径木の大半が被害を受け枯損しているため、新たに枯れる対象が無くなっていると考えられる。)

(6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会を平成31年3月27日に開催し、平成31年度の駆除実施計画、駆除班を編成し、実施した。

有害鳥獣の駆除・追払い等の活動を実施する、「有害鳥獣駆除従事者」は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者59名の登録とした。

合わせて、「有害鳥獣駆除従事者」により「鳥獣被害防止実施隊」を編成し、有害駆除を実施した。

新規狩猟免許取得者3名へ取得費用の補助を行い、有害駆除従事者・被害防止実施隊員の登録をした。

国補事業により向栗畑地区へ侵入防止柵の導入、町単補助により栗畑地区で緩衝帯を整備し、獣の移動ルートを寸断するとともに、隠れ場所を無くすことで出没防止を実施した。更にニホンザル用の捕獲檻6基、くくりワナ195基を購入し猟友会各支部へ配布した。

くくりワナを木曾森林管理署南木曾支署より25基借用、鳥獣被害対策実施隊でくくりワナ修理道具、資材一式を購入し年度内に全て配布した。

県からの依頼により、豚コレラ蔓延防止の観点から捕獲イノシシの検査を猟友会の協力の下で行った。(令和元年度 検査頭数55頭 内陽性2頭)

○ 忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業は、平成17年度から行われている。

令和元年度末までに本登録39頭が登録されている。

(7) 治山事業(県事業)

(ア) 林地荒廃防止事業

H30繰越 吾妻 米山沢(谷止工1基)

(イ) 復旧治山事業

H30繰越 読書 胡桃田沢(谷止工1基)

(ウ) 県単治山事業

H30繰越 読書 柿其(山腹工0.1ha)

(8) 災害復旧事業

(ア) 補助災害分 なし

(イ) 町単災害分 なし

(ウ) 県単災害分 なし

令和元年度林務関係主要事業

(1) 林業振興関係

事業名	事業主体	事業量 (ha)	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988				988	
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	28.44	851				851	
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		150				150	
合計			1,989	0	0	0	1,989	

単位：千円

(2) 町有林造成事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
町有林造成事業	町	枝打	599					下安町有林 (田立塚野) その他：寄付金 天白町有林 (読書天白) その他：寄付金 袖が沢町有林 (読書和合) 西山町有林 (吾妻大妻籠) その他：上下流交流基金
		3.0ha			200	399		
		除伐	1,233				233	
		3.0ha			1,000			
町有林造成事業	町	保育間伐	1,199				1,199	
		2.0ha						
		獣害防除						
町有林造成事業	町	搬出間伐	10,274					
		5.56ha		3,815			5,900	
作業道		725m						
合計			13,305	0	3,815	0	1,759	7,731

単位：千円

(3) 林道開設・改良・維持事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
林道畑沢線改良工事	林道畑沢線	路面工	2,872	0	0	0	0	2,872	

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
林道維持修繕	町内	維持修繕 橋梁点検	7,211	0	1,683	0	0	5,528	修繕10路線、16か所 川向柳野線、小梨子沢線、西山線、長根線 越野線、日向平線、袖山線、田の沢線 細野山線、恋路峠線 橋梁点検6橋

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
西山町有林作業道開設	西山町有林	作業道 開設 725 m	3,580	0	1,476	0	220	1,884	上下流交流基金 220千円

(4) カモシカ対策事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源			
カモシカ個体数調整事業	町内一円	3頭	171	0	0	0	0	171				
イ 捕獲実績												
年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
頭数	13	20	8	8	8	8	8	9	10	10	5	3

(5) 森林病虫害等防除対策事業

1) 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m ³)	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
森林づくり推進支援金事業	町内一円	29.18	814		781			33	県民税事業
松林健全化推進事業		137.84	5,474		2,737			2,737	
(内 松くい虫被害)	三留野以北	(127.48)	(4,847)		(2,393)			(2,454)	
(内 ナラ枯被害)		(10.36)	(627)		(344)			(283)	
危険枯損木処理(松枯)	町内一円	23.48	699					699	地権者要望箇所対応
計		190.50	6,987	0	3,518	0	0	3,469	

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量

単位：m³

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
処理量	66.19	91.74	135.00	135.00	155.00	5.25	10.59	8.93	5.00	2.00	104.11	65.62
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元		合計
処理量	57.21	84.94	134.16	225.40	491.67	201.65	291.42	253.27	186.50	190.50		2,901.15

(6) 有害鳥獣駆除事業

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	6,466				6,466	駆除報償金、くくりワナ購入等
鳥獣被害防止 緊急捕獲等対策交付	町内一円	一式	2,390		824		1,566	ニホンザル・ニホンジカ ・イノシシ 個体数調整
野生鳥獣総合管理対策事業	町内一円	一式	1,289		643		646	有害鳥獣捕獲者支援 ツキノワグマ放獣
鳥獣被害防止総合対策交付金	田立 塚野	一式	2,315		2,299		16	ワナ、檻購入 侵入防止柵設置
忠犬による追い払い事業	町内一円	一式	99				99	忠犬状態確認 飼主傷害保険
計			12,559	0	3,766	0	8,793	

イ 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	ニホンジカ	アライグマ	アナグマ	ウ 熊の出没回数			計
													4月	5月	6月	
報酬単価	30,000	10,000	15,000	—	500	—	3,000	3,000	1,000	30,000	3,000	—	1月	2月	3月	計
有害期間許可頭数等	100	150	11	10	30	5	50	50	10	50	5	10	12月	0	0	46
有害対象期間捕獲頭数	17	103	11	0	0	0	28	30	0	44	1	4	11月	0	0	46
狩猟期間捕獲頭数	19	24	0	0	0	0	7	26	0	33	0	0	10月	0	0	59
駆除合計	36	127	11	0	0	0	35	56	0	77	1	4	9月	1	0	
(前年度駆除頭数)	71	197	8	0	1	1	41	58	0	63	2	11	8月	9	0	

ウ 熊の出没回数

単位：回数

熊の出没回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年	0	6	7	12	14	7	0	0	0	0	0	0	46
平成30年	2	9	14	14	9	10	1	0	0	0	0	0	59

エ 忠犬登録実績

単位：頭数

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
読 書	18	22	23	26	26	26	27	25	24
与川一区	2	2	2	2	2	2	2	2	2
与川三区	2	2	2	2	2	2	2	2	2
与川五区	1	2	2	2	2	2	2	2	2
十二兼	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本谷	2	1	1	1	1	1	1	1	1
岩倉	1	1	1	1	1	1	1	1	1
戸場	2	3	3	3	3	3	3	1	0
川向	2	3	4	5	5	5	5	5	5
沼田				1	1	1	1	1	1
上の原	4	4	4	5	5	5	5	5	5
和合北							1	1	1
新町		1	1	1	1	1	1	1	1
東町	1	2	2	2	2	2	2	2	2
吾 妻	5	7	7	7	7	6	6	6	6
中町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
橋場		1	1	1	1	1	1	1	1
大妻籠	3	3	3	4	4	3	3	3	3
下り谷	1	1	1						0
口広瀬		1	1	1	1	1	1	1	1
田 立	7	9	9	9	9	8	8	9	9
元組	1	1	1	1	1	1	1	1	1
向栗畑	2	3	3	3	3	3	3	2	2
栗畑	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下切	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大野正兼	1	2	2	2	2	1	1	1	1
塚野	1	1	1	1	1	1	1	3	3
合 計	30	38	39	42	42	40	41	40	39

(7) 治山事業費

ア 県事業分 (H31年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
復旧治山事業 (H30繰越)	胡桃田沢	谷止工 (コンクリート)	1基	請負金額 52,635千円
林地荒廃防止事業 (H30繰越)	米山沢	谷止工 (コンクリート)	1基	請負金額 24,678千円
復旧治山事業 (H30繰越)	細野沢	山腹工	0.1ha	請負金額 15,292千円

(8) 災害復旧事業費

ア 県単独事業分 (H31年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
なし				

イ 町単独事業分 (H31年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
なし				

